

踏ん張れ！ つまようじタワー 高校生製作、耐震性競う

高校生がつまようじと接着剤だけで作ったタワーの耐震性を競うコンテストが21日、熊本市西区の崇城大であり、県内外の23校から162人が参加し、熱戦を繰り広げた。

ものづくりと建物の耐震に関心を持ってもらおうと、同大が2011年から毎年開いている。普通高と建築系専門高の2部門。いずれも2人1組でタワーを製作し持ち寄った。タワーの条件は、30センチ四方の台座

の上に高さ50センチ以上で作ることなど。揺れを発生させる装置に載せ、振動数と重りの数を徐々に増やしなから、どれだけ長く倒れずに耐えられるかを競った。

製作に約2カ月かけたという、文徳高理工科1年の杉本彪瑠さんと倉本璃来さんは「振動に強い三角形をタワーの中にふんだんに取り入れるなど工夫した」と話していた。

(緒方李咲)



高校生がつまようじタワーの耐震性を競ったコンテスト＝熊本市西区